



平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 南 陽
代 表 者 名 取締役社長 武内英一郎
(コード番号：7417 東証第二部・福証)
問 合 せ 先 取締役管理本部長兼
経営企画室長 篠崎 学
T E L 092-472-7331

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 10 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は、平成 30 年 6 月開催予定の第 64 期定時株主総会に付議する予定でありませ

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 30 年 2 月 8 日公表)	前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期)
基 準 日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	54 円 00 銭 (普通配当 51 円 00 銭) (記念配当 3 円 00 銭)	51 円 00 銭 (普通配当 48 円 00 銭) (記念配当 3 円 00 銭)	38 円 00 銭 (普通配当 38 円 00 銭)
配当金の総額	343 百万円	—	241 百万円
効 力 発 生 日	平成 30 年 6 月 27 日	—	平成 29 年 6 月 28 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は経営の合理化、効率化を推進し、収益力の向上、財務体質の強化をはかるとともに、安定配当を維持しながら連結純利益の状況に応じて配当額の向上に取り組むため、配当性向については連結純利益の 25%程度を維持し、中間配当、期末配当の年 2 回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、上記方針に基づき、財務状況、利益水準、配当性向等を総合的に勘案した結果、平成 30 年 2 月 8 日にて公表しておりました期末配当金 51 円を 54 円に修正することといたしました。

なお、中間配当（1 株当たり 15 円）を加えた年間配当は、1 株当たり 69 円となり、前期と比べて 16 円の増配となります。内部留保金につきましては、今後の事業活動並びに経営体質の一層の強化に充当していく考えであります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	15円00銭	54円00銭	69円00銭
前期実績 (平成29年3月期)	15円00銭	38円00銭	53円00銭

以上